

北稜舎報

.....INDEX

- 巻頭言 新六稜会館着工次第
山本次朗(62期)..... 2
- 新六稜会館建設募金[中間報告]..... 3
- 新校長着任 ごあいさつ
中垣芳隆(校長)..... 4
- 教育改革と北野の教育事情
池田雅文(84期)..... 5
- 会館の理念と設計
新六稜会館の計画をめぐって
竹山聖(85期)..... 6
- 事務局だより#005
ひととき暑い夏をセミとともに
新原章弘(65期)..... 10
- スタッフ紹介
藤本鈴乃さん(84期)..... 11
- 会務・会計報告..... 12
- 水鳥先生のご逝去を悼む
戸川啓(62期)..... 14
- 「募金者」一覧をご確認ください..... 14
- PARTY REPORTS..... 15
- 母校の窓..... 20
- 129周年総会案内..... 24

NO. 39
2002.9.25



未来に残る 北中マーク



事務局だより#005(p-10)参照

新六稜会館着工次第

六稜同窓会副会長
新六稜会館建設委員長
山本次郎(62期)



世部長と

三伏の炎暑ともいうべき夏でしたが、六稜同窓会の皆様は、その後お元気でお暮らしたったでしょうか。北野を取り巻く状況もまさに暑い季節のさなかにありました。多年、企画、募金、運営その他多岐にわたって皆様方のご厚情とお力添えをいただいで参りました新六稜会館が、いよいよ本年5月、新校舎正面玄関西側に着工いたしました。

すでに7月12日発行の募金趣意書3において、詳細をご披露したところですが、発注先は(株)松村組、総工費は2億9千万円(税込3億450万円)、完成時期は本年12月末日であります。施工者松村組の高い技術力と経験、設計者竹山聖氏の監修ともども、現在、工事は何らの支障もなく整然と進捗しています。

施工者松村組の代表取締役社長は得田芳宏氏(六稜71期)、建設本部長は嵐幸雄氏(同73期)ですが、施工者が同窓会員であるということは何という天佑でありましょう。私は、まずこのことを同窓会の皆様方にご報告申し上げるとともに、この事業がいかなる経緯をたどって現在にいたったかの由来を、責任者としてご報告したい、と存じます。

新六稜会館建設の構想が同窓会内に芽生えたのは、今を去る9年前の平成5年、北野百二十周年の直後のことでした。その後、会内のさまざまな意見を交えて、会館建設準備会が設置されたのが平成8年、これが後に会館建設委員会に移行したのですが、時あたかも北野の新校舎建築問題が本格化しており、同窓会の論議もこちらの方に重点がおかれていました。しかし、同窓会館建設の論議は途絶えることなくつづけられ、深刻化するこの不況の渦中でこのような会館を作るべきかどうか、また、その規模の大小、同窓会の将来の活動領域をどの程度に設定するのが妥当か等々、まさに甲論乙駁の質疑が交わされるまでになりました。他方、百二十周年募金のときの「北野のために形あるものをお作りになるので

あれば、私共ももっと協力させていただくのです」という意見は相変わらず根強く、さらに、「新同窓会館を新校舎の竣工時期と時を同じくして作ったらどうか」などの動きも出て来て、同窓会の世論の潮流は次第に会館建設を積極化する方向へと高まって参りました。常任理事会としても、新世紀に向けての北野文化の躍動を使命とする、このような言霊の流れを看過することができなくなりました。

その結果、これらの諸問題を根底から論議し検討する機関として、会館機能検討、資料保存、環境緑化、そうして、平成11年には募金、財務、さらに同13年には会館運営等の各種委員会が設置されるにいたり、常任理事会と重点的協議を重ねつつ、各組織はこれまで百回以上もの作業をつづけて来たのであります。

さて、ここで私はこれら各組織の中心であった建設委員会の在り方について、ご説明しておきたいと思います。

当委員会は、機能検討委員会のソフトな意見や、各委員会からの提案、そして募金委員会との連携等をも万般考慮しつつ、同窓会に対し、最終的に一社を選び、契約成立、着工にいたるまでの責務を負っておりました。

そこで、私共が標榜した理念は、「公正さ」と「透明性」ということであります。つまり、会社を選定するにあたっては公正な判断基準、判断評価をもたねばならず、この経緯を時宜に応じ同窓会に透明性をもって情報開示できるようにしておかなければなりません。当委員会は、これらの理念を実現するため、施工者の選定については単に金額のみで決めるのではない「相見積り」方式を採用し、公私の審査機関の評価からまず6社を選び、さらに4社に絞り、本年1月、各社との間に相見積り作業を開始しました。設計監修者は、TIS&パートナーズの協力を得て、工事の合理的評価基準に関し文字どおり必死の折衝をしてくれたと思います。これらの努力の成果が3月当初の松村組との相見積り額の一致に結実し、ここに北野の歴史の新たな1ページが開かれたのであります。大凡、以上の次第であります。この母校百年の大計が、後世、どのような歴史の審判を受けることになるのか、楽しみです。この事業が何とぞ有終の美を飾れますよう、それは、ひとえに同窓会の皆様方のご厚情にかかっていることを切にお訴えして、筆を擱きます。

ごあいさつ

大阪府立北野高等学校校長
中垣芳隆



伝統校という言葉はこの学校のためにあるのだらうと、日々実感する北野高等学校に赴任以来約1カ月、少しは辺りを見回すゆとりが持てるようになった現時点において感じるところをおもむくままに記してみれば、

時空を超えた清新さ

高等学校で英語の教員として18年、その後大阪府教育委員会、箕面市教育委員会での通算15年の行政経験の後、久しぶりの教育の場、「今浦島」の感じを抱くのではとの危惧を杞憂のものとしてくれたのは、登校時や放課後の生徒諸君の元気の良い且つ礼儀正しい挨拶。15年のブランクを更に超え、気分としては新任教員の時の清新さを思い起こす。

素晴らしきかな、北野高校

教育行政に携わる中、折りにふれ「良い学校の要素」として二つのことを挙げてきた。一つは学ぶ者と教職員のその学校への強い帰属意識、もう一つは教える者と教わる者の間に心地よい緊張感の漂う授業が展開されていること。創立130年を指呼の間に捉える歴史と伝統の力を背景に、二つの要素が見事なまでに息づいている。折にふれ、北野には学ぶ時には学びに軸足を、部活動の時には部活動に軸足を置くことができる生徒が多いとは聞いていたが、日々、目の当たりにして納得という言葉が当然という言葉に昇華する。

前職で抱いていた漠たる不安

ところで、この方の我が国の教育改革のベクトルは、個性の伸長、特色ある学校づくりに代表されるごとく画一化から多様化への方角を進んでいる。子ども達を見れば、我々の頃に比べ、自己表現力や情報化を始めとする様々な新しい文化への対応能力など、多くの優れた点のあることは素直に評価されることかと思われる。

しかし、彼等が生きていく21世紀はこれ迄以上の激しい変化が予測される。素人のくせにとのそしりを恐れずに述べれば、かつては説得力のあった「寄らば大樹のかげ」という言葉は、グローバリゼーションに伴う社会構造改革の過程において、その有効性を減じつつある。そうであれば、子ども達一人一人が、しっかりと地中に根をはった樹木となり、いかなる嵐が来ようとも逞しく生き抜くことがで

きる、自らに打ち克つ力や耐える力も同時に教育の中で培う必要があるが、この点については如何。

また一つには、学校週5日制に伴う学力低下論争。土曜日の授業がなくなるのであるから、余程の工夫がなければ学力低下への懸念を払拭は困難なこと。しかし、点数に現れる学力を巡っての議論の繰り返しはことの本質を見誤る。深刻なのは学習意欲の低下。理科離れ、数学嫌いと言われて久しいが、点数はそれなりであっても、いずれの教科においてもその教科が好きという生徒の割合は低落傾向を示している。これへの対応や如何。

適宜・適切な対応

このような、教育の枠組みの変化に伴う懸念や不安、また時代の要請に対し、北野高校は常に適宜・適切に対応してきた。学校5日制に備え、遠く平成5年度に授業日数確保の手段として、府立高校として最初に二期制採用の可否について、当時の山崎校長から実務担当者として相談を受けたのが自分であったことも因縁めいて面白い。さらに、秋田前校長時代に蒔かれた様々な種子、本年度から、他校では一日50分×6時限=300分、本校では65分×5時限=325分の校時としている。また、新聞紙上でも紹介のあったように土曜講座と銘打ち、生徒の学習意欲に応えるべく各学年において、基礎的学力の定着と併せ発展的な内容による学習活動が展開されている。

さらに、生徒の知的好奇心を高揚するとともに、将来の進路選択の一助とすべく大阪大学、京都大学との連携をすすめており、本年も50名を越える生徒が毎週一回、放課後に大阪大学に赴き少人数のゼミ講座に参加している。

とりわけ特筆すべきは、科学技術立国としての我が国の将来を担う人材の育成を図ることを趣旨とするスーパーサイエンスハイスクールとして、全国26校のうち大阪府で本校のみが3年間の研究指定を受けたところである。早速にプロジェクトチームを発足し具体的な教育内容等の開発・研究をすすめる体制を整えたところであるが、今後の本校の在り方に大きく影響を与える可能性を内包した事業と確信している。

最後に

このような様々な取り組みもまた、北野のスピリットである文武両道、すなわち知徳体のバランスのとれた全人教育の延長線上にあるものであり、世間の受けを狙ったものではさらさらない。蕉翁に譬えるならば、基本的永続性とその時々の新風の体は根本においては一に帰すという、まさに不易流行の事柄と考えている。

北野の教育事情

北野高等学校教諭
池田雅文(84期)

21世紀に入り、教育環境や制度が大きく変化しています。その一つとして、今年から完全週5日制になり、授業時間が大幅に減少することになりました。また、来年度の新1年生からは高校でも新カリキュラムが実施されます。

一方、各学校においては、画一的な教育ではなく特色を打ち出すことが求められています。

■週5日制への対応

・65分授業

北野高校では、本年度から65分5時間授業になりました。これにより、今までの50分6時間授業に比べて、1日25分、週あたり125分授業時間が多くなります。この結果、昨年までの月2回土曜休みの場合の授業時間を減らさずに維持できています。

・2学期制

前期・後期に分ける2学期制を数年前から導入し、授業日数の確保に努めています。

・土曜講座

土曜日は、生徒一人一人が有意義な過ごし方をすることが期待されています。それを支援するために、希望する生徒を対象に土曜講座を開催しています。生徒の約80%が受講して熱心に勉強しています。

■新カリキュラム

来年度から、高校でも新カリキュラムが実施されます。そのポイントは次の3点です。

・内容の精選と削減

3割削減とよくいわれていますが、高校を卒業するまでに学ぶべき内容はほとんど変わりません。

・総合的な学習の時間の新設

「総合的な学習の時間」は、従来の教科にまたがるような課題に関する学習を行える時間として新しく設けられるものです。

・教科「情報」の新設

■スーパーサイエンスハイスクール

将来有為な科学技術系人材の育成に資するよう、科学技術、理科・数学教育を重点的に行う学校として、全国で26校（国立3校、公立20校、私立

3校）が指定されました。

・スーパーサイエンスハイスクールの取組

○学習指導要領によらない教育課程の編成実施等により、高等学校及び中高一貫教育校における理科・数学に重点を置いたカリキュラムの開発

○大学や研究機関等と連携し、生徒が大学で授業を受講、大学の教員や研究者が学校で授業を行うなど、関係機関等との連携方策の研究

○論理的思考力、創造性や独創性等を一層高めるための指導方法等の研究

○科学クラブ等の活動の充実

○トップクラスの研究者や技術者等との交流、先端技術との出会い、全国のスーパーサイエンスハイスクールの生徒相互の交流等

・北野高校の研究開発課題

高大連携の積極的な推進と特設教科「SS理科」、「SS数学」、「課題研究」を組み込んだ教育課程の研究開発、生徒の優れた才能を伸ばし、独創性に溢れ科学的判断力を有した人材を育成するための指導方法の研究開発を行います。すでに、1年生36名が参加して、7月下旬から活動を開始しています。

■エルハイスクール

次代をリードする人材育成の「研究開発重点校」（エル・ハイスクール：「リードする（Lead）」「生涯学習（Life-long learning）」「教養（Literacy）」をそれぞれ意味する頭文字Lを取り名付けられた）として、7月に大阪府教育委員会は北野高校など17校を指定しました。

「伸びる子を伸ばす」教育を目指します。

■高大連携

生徒の勉学への意欲を喚起するために北野高校では、次のような行事を推進しています。

・大阪大学「基礎セミナー」の受講

2年生の希望者55名が4月から半年間、週1回大阪大学の基礎セミナーに大阪大学の学生に混じって参加しています。

・大学セミナー

・シリーズ「知的世界への冒険」

・大学訪問・見学会および一日研究室訪問

これらの行事の実施にあたっては、卒業生の多大なご協力をいただいております。

新六稜会館の 計画をめぐる



新六稜会館を成功させよう！

建築家・京都大学助教授
竹山聖(85期)

校舎の建て替えについて具体的な話を聞いたのは1993年秋のこと。大阪府の方針にもかかわらず、先生方や同窓会の昭和の名校舎への愛着絶ちがたく、府から提示された計画案に対する釈然としない感覚も重なって、計画全体が膠着状態に陥っていた頃でした。ただ、北野高校はあくまで大阪府の府立高校のひとつ。オーナーは大阪府、さらにいうなら教育委員会、建設計画者は大阪府の営繕(当時の名称、現在は公共建築室といいます)です。したがって、いかに輝かしい伝統を築き有為の人材を輩出しているとしても、学校はテナントにすぎない。とするならさしあたり在校生は現行ユーザー、同窓会にいたってはたかだかつてのユーザーたちにほかなりません。テナントやユーザーがいろいろ言ったところでやはりオーナーの決断は重い。しかしさすがに北野高校、歴史の重さがある。学校側と同窓会の総意抜きで計画の遂行は難しいことは府も承知。議論は混迷を極め計画の行方も定かならぬ状況が未来を覆っていたのです。

そんな場面に呼ばれて意見を求められたのです。説明を聞き、考えました。建て替えが府の方針として覆らないならば、せめて現行制度の枠内で最高の校舎を後輩たちに残してやりたい。過去の記憶も継承しながら。

私は一枚のスケッチを描きました。古い校舎のPの字型プランを踏襲し、弾痕の残る壁を保存して、新しい校舎を配置してみたのです。古い校舎を少し拡大し、回転移動する。中庭を囲む教職員や特別教室のための棟と、長く伸びる教室の棟。既存の建物の配置に合わせ円形や軸線や広場で関係を調整してゆく。古代ローマの都市計画の手法です。そう、

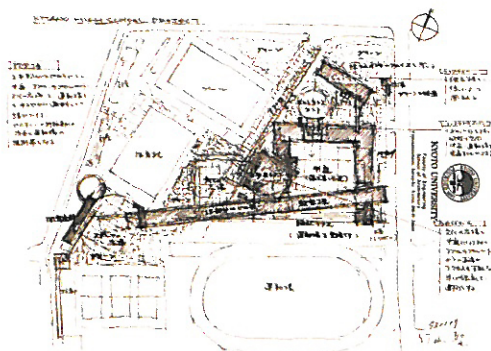
あたかも都市を計画するように。北野高校の未来は古きものと新しきものの出会いのなかにある。古いものと新しいものが出会う場所、それが都市なのですから。

この一枚のスケッチはごく短時間で描き上げられました。おそらくこのとき、私は高校時代の3年間で一瞬で横切りながら手を動かしていたのだと思います。いわば青春の時間が一枚のスケッチに凝集された。このスケッチを北野高校に送って、私はニューヨークに飛びました。

一週間のニューヨーク滞在を終えて戻ってくると、事態は大きく進展していました。私は校舎建て替えのプロジェクトチームに参加して、全体を統括することになりました。すでに大阪府から設計の担当として指名されていた高橋上田建築設計事務所と協働することになったのです。計画の中心となっていたのは78期の太谷明徳さんでした。こうして太谷さんのコーディネートの下、高橋上田事務所の若

いスタッフと私の手兵とも言うべき設計組織アモルフのスタッフを率いて、基本設計をまとめる作業がはじまりました。

そこでの苦難は語りつくせぬほどいろいろあって、いまやなかば笑い話でもあります。とりわけ面積にぎゅうぎゅうに縛られた計画の抜け道探しに

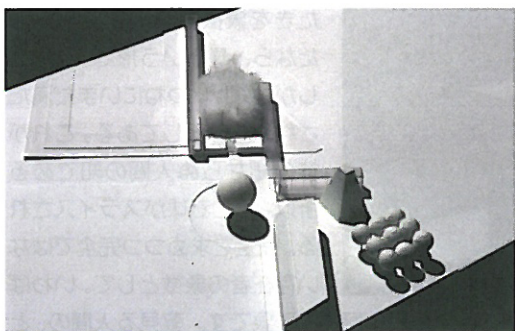


1993年11月19日、「ファーストスケッチ」

は苦労しました。

たとえば大阪府の方針として体育館以外に講堂をつくってはならない。既存の講堂を壊したら講堂はなくなってしまいます。そこで浮かび上がったのが「多目的ホール」。体育館と講堂の併設は許されませんが、「多目的ホール」との共存は「前例」がある。講堂として計画されていた円形の建物は「多目的ホール」という名に変わりました。なにが違うかというと、要するに全校生徒が入れてはいけない。全校生徒が入れると、それは講堂と呼ぶのだそうです。役所の用語法にはなかなかなじみません。講堂は小さくなって「多目的ホール」となりました。それでも他の高校の「多目的ホール」に比べれば、北野の「多目的ホール」はきわだって巨大であり、象徴的であり、つまりは立派です。

さらに大きかったのは図書館問題です。これが今



回の同窓会館にもつながってきます。大阪府は府立高校の図書室面積を一律240㎡余と決めています。できたばかりの新設校も130年の歴史をもつ北野高校も同じ。考えてみればいかにも理不尽です。ただし平等というのはそういうことなのかもしれません。同じ府立高校で差があってはならない。長らく日本を支配してきた建前の議論です。ただこの10年で日本もそうバカなことばかりやっていると国際競争に取り残されるのがわかってきて国の方針も変わってきた。つまり差をつける。生命体が生き生きと活動するためには差異と流れの場に身を置くことが必要です。

北野高校も今年大阪府で唯一スーパーサイエンスハイスクールに指定されました。世界のレベルで科学をにう人材育成をめざして国が設立した制度です。全国で20余校、科学教育の拠点校を作るといもの。金太郎飴の画一でなく、人材も多様が求められるのはあきらかで、こうした多様は生物淘汰における遺伝子の戦略とも合致します。

話を戻しましょう。ともかく大阪府立高校の図書室に割り当てられた面積は240㎡、70坪強、ちょっとした住宅程度です。北野高校の膨大な蔵書が納まるわけはありません。全体面積は決まっていますから、どこから面積を捻出するか。解決策のひとつが、廊下、階段を屋外とすることでした。屋外階段、廊下は面積に算入されないのです。教室その他の面積もゆったり取りたいところでしたが基準通り。かくして涙ぐましくもせこい操作を繰り返しながら、「多目的ホール」や図書館の面積を生み出していったのです。

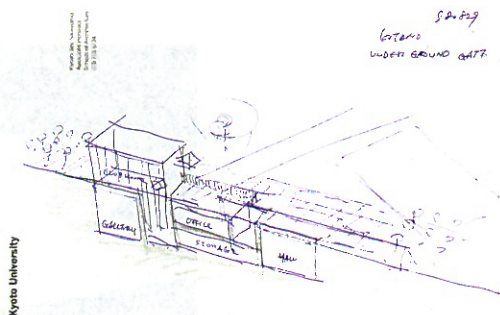
それでも限界がありました。ここで伝え聞いたのが同窓会館の建設計画です。これは資料館としての機能ももつものらしい。そこで新校舎計画の基本段階から、いわば図書館の機能を補うものとして、同窓会館を構想に織り込んでいきました。「自由と主

体性」「旧きものと新しきものの共存」「余白の形成」という三つの柱がうたわれた1994年の基本構想に、すでに同窓会館は位置づけられていました。図面の上にも、私の頭の中にも、目にはさやかに見えなくても、それは確実に存在していたのです。柏尾先生をはじめ北野の歴史をまとめられ、資料に精通されている先生方から、資料収蔵や展示の概略についてデータやアイディアをいただきました。これがやがて同窓会館の核となるであろうことも想像がつかしました。同窓会館はまず何よりも資料館として出発したのです。北野高校の130年の歴史を入れるための器として。

図書館の前に残された緑の庭を私は「読書の森」と名づけました。同窓会館が完成した時には図書館とL字型をなして取り囲まれる中庭になる予定でしたが、最終的な同窓会館の位置が新正門の西側に移ってしまったので、笹部桜の庭も含めて、将来的な課題です。ともあれ図書館のほとりに、資料館を地下に沈めて地上にガラスの箱を置き、「読書の森」を眺める憩いの場所をつくる。これが同窓会館のはじまりで、庭と一体になった透明な箱、北野文化の記憶と語らう静かな瞑想の場でした。

新校舎の基本設計が終了したのは1995年の春のことです。すぐさま実施設計に移行するのが通常の作業工程なのですが、大阪府の財政事情か、実施設計の予算がつかず、設計は一年間の作業中断をむかえました。この時期あたりから同窓会館の計画は大きく動いて、やはり交流のためのホールが中心になるべきだろうとの声が大きくなりました。

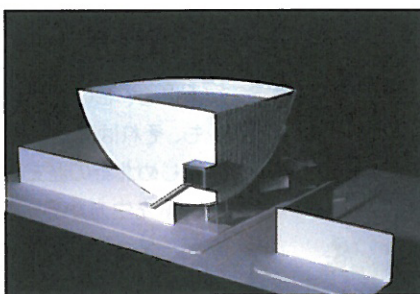
交流機能は資料館の延長上には位置づけにくいプログラムです。静寂と喧騒の対立。たとえば笹部桜が立ち並び、花を眺めて宴を張る、そのような象徴的な広場でよいのではないかと私は考えていました。静寂の庭から交流の広場へ。しかし設備の整ったホールが要るとのこと、これは巨大なヴォ



1998年 8月29日、「大地に埋設」案

リウムになる。そこで私は新正門の西側、図書館に連続する資料館とは新正門をはさんだ反対側に、敷地を求めていったのです。ただあくまでも広場として。つまり半ば地下に埋めてなるべくヴォリュームを見せないように工夫しながら。新正門をはさん

1999年 1月30日、「シンボリックな形」案



で東側に資料館、西側に交流館。これを空中を飛ぶブリッジで結びつける、というのが1996年ころの同窓会館の基本的なイメージです。つまり、正門の風景を完全に同窓会館が支配してしまう。これに大阪府が難色を示しているという情報が入りました。最後は大阪府に寄贈する施設です。事を構えてもしょうがない。1997年になると、空中ブリッジは地下トンネルになりました。ドーム状の屋根をいただく資料館と四角い交流館。庭や広場のイメージはだんだん希薄になっていきました。

1997年3月に新校舎の実施設計が終了。着工はまた一年延びて、1998年度の工事となりました。

1998年の夏の終わり、新しい校舎の着工間もないころ、旧校舎の校長室では同窓会の建設委員会が開かれていました。すでに案はふたつに絞り込まれていました。すべてを地下に埋めた案と、スライスされた球体を宙に浮かべたシンボリックな案です。地下埋設案は正門の下を東西に長く伸びた空間が走るものでしたが、宙に浮かべた案のほうは、新正門の東側に収めて西側の敷地は用いない、つまり当初の構想どおり「資料館」の敷地に立体的に空間を組み上げたものでした。

議論の結果、シンボリックな案が選ばれました。これからの「北野文化」を発信し、さまざまな情報を感度よく受け止めるのだから、周囲から認知されやすい形をとるべきだという意見が大勢を占めたのです。ジャーナリズム的な視点からもこの形であれば積極的にバックアップできるとの委員の意見が議論にとどめを刺しました。それでは最終案に結実する萌芽を宿したこのシンボリックな案について少し私の思いを語らせてください。

宙に浮くスライスされた球体は、人間の知のメタフォア

です。かりに知性の無限のはばたきを象徴する形があるとしたなら、球という形でしょう。しかし知は、つねにまだ満たされぬものとしてある。これが神の知らぬ人間の知である所以。そこで球がスライスされる。完全を求めつつ完全ではない存在者の象徴として。いわば

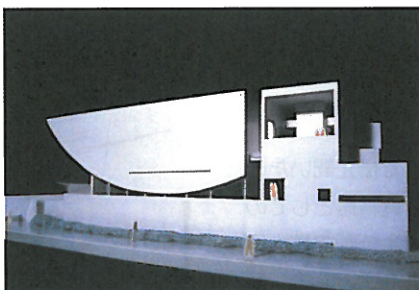
憧れる人間の幾何学的形象です。夢見る人間の、と言ってもいいかもしれません。未完結な形が未来の出会いを待っている。天空に向かって広がる形は、限られた面積の敷地で最大の空間的ヴォリュームを取るための工夫でもあります。

人の交流が目に見える形となり、記憶は静かに大地の眠りを眠る。天空に浮いた未来のプログラム、大地に埋もれた過去のプログラム、そしてその間に展開する現在のプログラム。三つの異なった性格をもつ空間の組み合わせこそが、北野高校の歴史を刻み込むメモリーバンクにふさわしい。

三つのプログラムを簡単に説明します。まず過去から。同窓会館の出発点でもある資料館というプログラムがもとになった、いわば北野の文化遺産のストックと展示の場。北野ミュージアムと言っていいでしょう。次に未来。新しい人や情報と出会う場所です。メディアアートのプレゼンテーションも視野に収めた映像シアター。新しい知のありようを新しいテクノロジーで見せる。予算の関係でさほど十分な設備はできませんでしたが、設備は日進月歩。これから徐々に充実させていけばいいと思います。そして現在。同窓生だけでなく、同窓生と在学生の出会いの場。むろん在学生同士、先生方、あるいは広くさまざまな人との意外な出会いが待っている。これも予算の関係で不十分ですが、北野文化のメディアライブラリーとして、文化遺産や未来のプログラムを検索できる広場でもありたい。外部にテラスも

ありパーティーにもうってつけ。生徒たちの待ち合わせの場としても機能するはずだ。

1999年に入ると、会館運営の要となる事務スペースが宙を走るチューブとして存在感を強めてきました。単なる同窓会事務局にとどまらず、展示の企画、交流ホールの運営、そして



2002年 4月12日、「最終案」

何より北野文化の情報発信基地として機能することになるはずだ。キュレーターもできれば常駐できればいい。キュレーションも生徒たちが中心となっておこなえば、将来同窓会活動と在校生とのつながりも滑らかになる。メディアアート・クラブを作って、そ

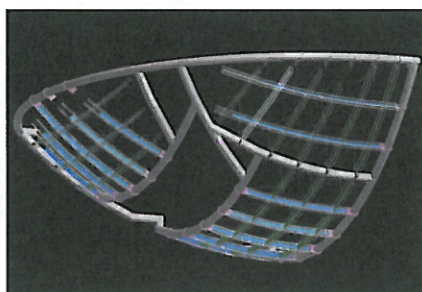
の活動拠点にしてはどうか。映像設備は活動と並行して整備されていけばいい。文化祭でも多目的ホール、体育館と並んで、映像表現の発表の場となれば、ますます未来の北野文化の広がりが出るだろう。夢は膨らみとどまるところを知りません。

1999年の秋のこと、大きな計画変更の要請がやってきました。東に隣接するマンション住民からは、すでに校舎改築をめぐっても幾多の要望が出て、校舎の位置をマンションから少しでも離す変更を余儀なくされてきました。おかげでプールの中心軸に合わせた多目的ホールの位置など、周到に仕組まれた配置計画も崩れ、「バックネット裏のクスノキ」やケヤキ並木に建物が近づきすぎて、樹木に悪い影響も与えていました。そしてこの同窓会館もまた、マンション住民に配慮して新正門の西側に移すことになりました。

この決断は計画案を新たな段階へと導きました。立体的で稠密な空間構成から、むしろ水平方向に広がりのある空間構成へと焦点が移行したのです。十三公園に面する街路景観が重要なテーマとなりました。

空間に余裕が出たため、このあたりが空間構想者の悲しい性、予算はすでに3億と決まっているのに、もう少し広く、もう少し豊かに、とついつい手が動いてしまいます。面積も1000㎡の目安がだんだん大きくなっていく。収蔵庫をひろげ、展示室をひろげ、テラスをひろげ、事務スペースをひろげ、交流ホールをひろげ、2002年1月30日の実施設計終了時にはついに1312㎡になってしまいました。ほぼ400坪です。空間は将来の布石としても豊かにとっておきたいと思う一念からの勇み足でした。石を張り、シャンデリアを吊り、金モールを巡らせるのではなく、シン

独自の構造システム



ブルな仕上げにして空間の豊かさをこそ求めたい。荘子の言葉を引くなら「虚室生白」。何もない空間にこそ光は満ちる。光は人です。北野高校の過去と未来をになう人々です。光を満たすのにゴージャスな仕上げは不要。建設委員会はこうした基本方針を了承し、また励まし

てもくださいました。北野高校の聖地は、シンボリックな存在でこそあれ、およそ絢爛豪華な館なんぞとは無縁であるとの基本的な認識です。

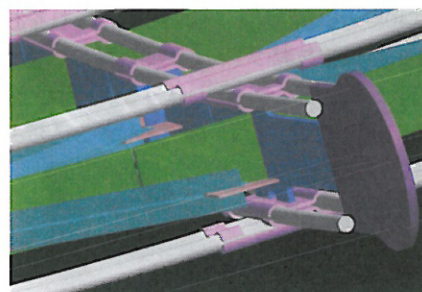
2002年2月から3月にかけての二ヶ月間は人生で最もタフな二ヶ月間だったといってもいいかもしれません。はたして見えるかどうかもわからないゴールを、しかし決して疑わずに見積もり調整の作業は続けました。

最難関は世界でも例のない独自の構造システムに施工者の理解を得る事でした。TIS&パートナーズの今川憲英さんは、私が設計をはじめたときからのよき理解者であり構造設計者でもあるのですが、この同窓会館のためにD51という飛び切り太い鉄筋を用いたシステムを提案してくれました。仮設もほとんど要らず、環境に配慮した施工の未来をも志向しています。4月15日、松村組という施工者を得て、同窓会館は無事着工の日を迎えました。7月21日現在、杭も耐圧版も終了し、工事は順調に進行しています。

長い道のりは終わったわけではありませんが、山本次郎先輩の言葉を借りれば、着工に向けての難関突破が胸突き八丁、マラソンで言えば35キロあたりとのことでしたから、今はこれを過ぎ、40キロからのラストスパートに向けて気を引き締めなおしているところでしょうか。

運営の点から見るならまだまだこれからが勝負ですが、建設は最終段階に入っています。諸先輩や

後輩の方も含めて多くの同窓生の方々に励まされてここまで来ましたが、さらに皆さんの手で画竜点睛を施していただきたい。そのためにさらに微力を尽くします。



D51の鉄筋を用いた構造体詳細

ひときわ暑い夏を セミとともに

六稜同窓会事務局長
新原章弘(65期)

新六稜会館完成もいよいよ本年末となりました。会員をはじめ多数の皆様方の、六稜への熱き心にあらためて御礼申し上げます。

この会館をはじめ同窓会の各種運営については、全て皆様方の年会費によって支えられております。引き続きまして皆様方の更なるご理解とご協力をお願い申し上げます。

今後の運営についての、ご意見やご要望がございましたらぜひお聞かせ下さい。

本号は会館特集としてお届けいたしましたので、他の欄がかなり圧縮されましたがご容赦下さい。

同窓会事務局へのご来客が最近とみに多くなりました。

事務局長としてはそのように期待もさせていただき、また、そのような場づくりもしてまいりました。ご来客が多いということは、同窓会にそれだけの関心をお寄せいただいていることだと思えますし、まことに嬉しいことであります。

今年の旧校舎の解体・改修にともない同窓会事務局は、間借りしていた第二新館二階から、この夏は新校舎三階の教室へ更なる間借りで移転しておりますが、この部屋は来春からの新装LL教室です。

現在府下公立高校普通教室にエアコンは全く設備されておらず、当然この部屋も夏真っ盛りです。160平方メートル、二面総窓ガラスはすこぶる陽当たりがよく、まして三階ともなれば屋上コンクリートの余熱がもろに伝わるのか、日中は40度近い室温になります。いま同窓会の部屋では一面に窓を開けきっての日中ですが、校庭および向かいの十三公園のセミの声が部屋中いっせいに飛び込んできます。ご来客にもセミの声でのお迎えとなる仕組みです。この暑いさなか、暑い空気をかき混ぜるだけの扇風機のみでは汗一杯のお客様にまことに申し訳なく恐縮しております。

来年は新会館でゆっくりとおもてなしをさせて



いただきますので、今年はご容赦ください。といってもこの会報が発行される時にはかなり涼しくなっていることとは思いますが…。

一昨年6月、新校舎3階三年生教室9教室に同窓会としてエアコン設備の寄贈を行いました。今年の暑さには充分価値あらしめたことと思います。

反面未だ設置のない多くの教室があり、視聴覚教室やLL教室のような特殊教室には当然必要だと考えますが、おって時間が解決するのでしょうか。

大阪府教委では、04年度府立高校普通教室へのエアコン導入を検討との報道もなされておりますが待ち望むところです。

十三にはまだ緑が多く、学校の前の十三公園には緑が溢れています。ご存じ北野高校校庭も読書の杜をはじめ高校クラスでは有数の緑の豊富な学校であります。というよりもあったというほうが正しいでしょうか。

校舎改築、運動場整備、そして同窓会館建設と着々とすすむ改修工事に多くの想い出の樹々が切り倒され、南側旧正門あたりの樹木はすっかりなくなりました。

卒業記念をはじめ多くの記念樹が植わっていたこのゾーンは、来年秋には運動場として整備されるためすっかり様変わりになっています。

●六稜同窓会ホームページ

皆様ホームページを充分ご覧になっていただいているとは思いますが、いろいろな情報がここに沢山盛り付けられております。

Web委員のご協力でこのページが成り立っておりますが、7月から事務局関連の主要データ等を、事務局が書き込むようになりました。

各期募金状況、年会費払込状況、不明者リスト等が週単位で更新されており、ほかに同窓会役員および各期学年理事・募金委員名簿なども掲載されております。

●旧校舎タイル取り出し

今春の新校舎の全館完成をもって、歴史あるあの昭和校舎は6月からの解体工事にてすべて撤去され、70年の歴史は閉じられました。

北野の全員が仰ぎ見た旧校舎東側屋上の「北中シンボルマーク」も、このたび一旦撤去となりましたが、このマークはそのまま壁面下部から切断し、総重量7トンのメモリアルウォールとして新会館周辺に残す予定です。

その取り出し時の写真が、今回会報表紙を飾っております。

旧校舎のタイルを額装し、記念品として一昨年から頒布しておりますが、自らの手でタイルやレンガを取り出したいと仰る方が多数居られましたので、前号会報にても広報いたしましたように、「タイル取り出し日」を設定し多くの方の参加をいただきました。

6月23、30日と二日間にわたって家族連れも含めて60名を超す方々が参加され、ハンマーとたがねを手握に格闘の末それなりの記念品をお持ち帰りになりました。

この昭和校舎タイルは、大阪市立「住まいのミュージアム」にも一部保管されることになりました。

●130周年六稜同窓会名簿

5年前の125周年名簿に続き、来年「130周年六稜

同窓会名簿」を発行することになりました。

今回当会報送付時の宛名用紙（払込取扱票）下部に、現在のあなたのデータを印字しておりますが、データに変更のある方のみ必要項目ご記入の上、同封いたしました封筒をご使用にて名簿委員宛てにご送付ください。

同窓会としてはより正確なデーター管理をすすめ、充実した名簿作りをと考えております。

皆様方のご協力を切にお願い申し上げます。

また名簿とは直接の関係はありませんが、最近一部の新聞社・週刊誌または出版社から、北野高校卒業生としての賛助広告を求められたとの苦情が増えております。

このような勧誘や案内については、同窓会として全く関与いたしておりませんので、個人のご判断での対応をお願いいたします。

会館建設募金はただいま三年目に入っております。

税務上の特定寄付金控除の適用は、来年4月末日まで延長しておりますが、この期間内に目標額の3億5千万円に達しますと、その時点にて控除適用が終了いたします。

お含みおきいただき、早い時期でのお払込みをよろしくお願い申し上げます。

●スタッフ紹介

藤本鈴乃さん(84期)

昨年春の会報にての事務局スタッフ募集にいち早く電話で応募、「同窓会が卒業生のネットワークの基に…」に共鳴、事務局業務に並々ならぬ意欲を持っていただいたお一人。

早速事務局へ来ていただいたが、事務局業務にはある程度のパソコン技術があることが望ましいとの面談で、そのためにはプラスアルファの技術を磨こうと、市内中央高校パソコン科への入学特訓で事務局業務にそなえたお人。

事務局には昨年12月7日からの勤務。

ますます多様化する事務局業務で求められる仕事の範囲は広い。今までに企業勤めの経験がない故



に組織内での業務推進に多少まごつきはあるものの、根っからの真面目取組むでことに当たっていただいている。知識吸収意欲は素晴らしい。事務局長がパソコン前でふと首をかしげていると、翌日には自宅で用意した回答書が用意されていたりして気遣いは大変なもの。

ご自宅は長堀橋で永らく印舗を経営しておられたご両親、およびご主人、お子様二人との6人家族。

ご長男は大学でロボット工学専攻中、ご長女は放課後ひょっこり同窓会事務局へ顔を出す北野一年生。北野兄妹の良きお母さん。

自宅で中学生対象の塾経営をしておられ五教科を一人で教えているとか。

塾の小さな子供達との夢のある会話を嬉しそうに語っていただくが、その気持ちを今後の同窓会の若い会員との話合いと運営にぜひ生かしていただきたい。(N)

会務報告+会計報告

■常任理事会（平成14年3月9日）

- ①新六稜会館建設募金状況について
- ②東京六稜会報告
- ③新校舎概況と今後の環境整備
- ④広報委員報告（会報の広告掲載再開について）
- ⑤8089・9099政策推進委員報告
- ⑥新六稜会館建設見積調整状況報告
- ⑦新六稜会館運営検討委員会報告
- ⑧14年度理事会・常任理事会スケジュールについて

⑨同窓会事務局の一時移転について

- ⑩その他（観梅会報告、北野中学記念碑の集いの予告）
- ⑪新六稜会館建設問題についてフリートーキング

■臨時常任理事会（平成14年3月30日）

- ①新六稜会館建設募金状況について
- ②新六稜会館に関する報告（建設業者選定報告）
- ③上記に関する質疑応答
- ④募金延長について（免税措置再再延長申請）

平成13年度 六稜同窓会 一般会計【決算報告】

科目	平成13年度予算	平成13年度決算	備考
●収入の部	円	円	
1 入会金収入	1,000,000	1,050,000	350名×3,000円
2 年会費収入	15,000,000	23,567,500	7,858名
# (14年度分)		7,120,000	2,375名
3 総会費収入	1,250,000	630,000	126名×5,000円
4 寄付金収入	0	0	
5 利息収入	5,000	1,660	
6 名簿・出版物等売上	3,500,000	3,164,590	
7 基金会計より受け入れ	10,000,000	5,000,000	
収入合計	30,755,000	40,533,750	
●支出の部			
[1] 運営費	12,300,000	13,939,230	
1 人件費	2,400,000	2,400,000	
2 雑給	2,200,000	2,171,100	
3 旅費・交通費	1,000,000	1,031,727	
4 通信費	800,000	888,896	
5 印刷 事務用品費	1,400,000	1,241,760	
5 什器・備品		2,064,300	
6 会議費	600,000	393,613	
7 総会費	2,500,000	2,074,215	
8 慶弔費	800,000	739,605	
9 図書費	0	9,600	
10 雑費	600,000	924,414	
[2] 広報費	12,150,000	11,610,745	
1 WEB関連費	1,800,000	1,472,299	
2 会報発行関連費(37号)	4,100,000	3,979,173	
(38号)	4,100,000	4,070,922	
3 広報全般経費	2,150,000	2,088,351	
[3] 全国大会出場援助費	200,000	150,000	
[4] 各種事業援助金	300,000	377,061	
[5] 基金会計積立金	0	0	
[6] 教育環境整備援助費	0	0	
[7] 同窓会館建設関連費	5,000,000	5,313,657	
1 旅費・交通費		289,500	
2 通信費		2,753,197	
3 印刷 事務用品費		2,207,100	
4 会議費		43,860	
5 雑費		20,000	
[8] 予備費	3,792,699	0	
支出合計	33,742,699	31,390,693	
14年度会費前受分		7,120,000	
本年度収支差額	▲2,987,699	2,023,057	
前年度繰越金	2,987,699	2,987,699	
次年度繰越金	0	5,010,756	

以上の通り 平成13年度一般会計報告を致します。

平成14年4月26日 六稜同窓会会長 稲畑勝雄

本会計の正確であることを認めます。

平成14年4月26日 六稜同窓会監事 滝井尚三
六稜同窓会監事 枳田圭児

平成14年度 一般会計【予算】

科目	平成14年度予算
●収入の部	円
1 入会金収入	930,000
2 年会費収入	21,000,000
3 総会費収入	1,250,000
4 寄付金収入	0
5 利息収入	2,000
6 名簿・出版物等売上	3,000,000
7 基金会計より受け入れ	5,000,000
収入合計	31,182,000
●支出の部	
[1] 運営費	14,600,000
1 人件費	2,400,000
2 雑給	2,500,000
3 旅費・交通費	1,000,000
4 通信費	900,000
5 印刷 事務用品費	1,300,000
5 什器・備品	2,000,000
6 会議費	600,000
7 総会費	2,500,000
8 慶弔費	700,000
9 図書費	0
10 雑費	700,000
[2] 広報費	12,300,000
1 WEB関連費	1,800,000
2 会報発行関連費(39号)	4,300,000
(40号)	4,300,000
3 広報全般経費	1,900,000
[3] 全国大会出場援助費	200,000
[4] 各種事業援助金	400,000
[5] 基金会計積立金	0
[6] 教育環境整備援助費	500,000
[7] 同窓会館建設関連費	7,600,000
1 旅費・交通費	1,000,000
2 通信費	3,000,000
3 印刷 事務用品費	2,500,000
4 会館運営引当	1,000,000
5 雑費	100,000
[8] 予備費	592,756
支出合計	36,192,756
収支差額	▲5,010,756
前年度繰越金	5,010,756
次年度繰越金	0

■常任理事会（平成14年6月29日）

- ①平成13年度決算報告
- ②平成14年度予算案について
- ③新六稜会館建設発注および工期について
- ④新六稜会館建設募金説明と募金継続依頼
- ⑤新六稜会館運営方針について
- ⑥平成14年度総会について
- ⑦130周年記念総会開催について（15年11月1日に開催予定）
- ⑧同窓会名簿発行について
- ⑨8089.9099政策推進委員報告
- ⑩広報関連報告（会報発行など）
- ⑪WEB関連報告（古書ボランティア・Famous300への協力依頼）
- ⑫その他（ケントウッド校来日中。西天満小学校からの笹部桜贈与依頼）
- ⑬東京六稜会報告

■理事会（平成14年6月29日）

- 新校長（名誉会長）の紹介と挨拶
- ①平成13年度決算報告
- ②平成14年度予算案について
- ③新六稜会館建設発注および工期について
- ④新六稜会館建設募金説明と募金継続依頼
- ⑤新六稜会館設計推移説明
- ⑥新六稜会館運営方針について
- ⑦平成14年度総会について
- ⑧130周年記念総会開催について
- ⑨同窓会名簿発行について
- ⑩8089.9099政策推進委員報告
- ⑪広報関連報告
- ⑫WEB関連報告
- ⑬その他

平成13年度 六稜同窓会 基金会計【決算報告】

科目	決算	摘要
●収入の部		
1.前年度繰越金	102,291,289	大和金錢信託、郵便定期貯金、 農林中金定期、住友スーパー定期、ほか
2.前年度利息計上還算修正	30,000	
3.利息収入	418,681	
収入合計	102,739,970	

●支出の部		
1.一般会計へ	5,000,000	
支出合計	5,000,000	
次年度繰越金	97,739,970	

以上の通り 平成13年度六稜同窓会基金会計報告を致します。
平成14年4月26日 六稜同窓会会長 稲畑勝雄
本会計の正確であることを認めます。
平成14年4月26日 六稜同窓会監事 滝井尚三
六稜同窓会監事 栢田圭兒

平成13年度 六稜同窓会 建設会計【決算報告】

科目	(初年度) 自：平成13年5月1日 至：平成14年4月30日	摘要
●収入の部		
1.募金会計より	120,480,000	
収入合計	120,480,000	
●支出の部		
1.設計料	18,900,000	アモルフ
2.工事代金着手金	101,500,000	松村組
3.印紙代	80,000	
支出合計	120,480,000	
次年度繰越金	0	

以上の通り 平成13年度六稜同窓会建設会計報告を致します。
平成14年5月20日 六稜同窓会会長 稲畑勝雄
本会計の正確であることを認めます。
平成14年5月20日 六稜同窓会監事 滝井尚三
六稜同窓会監事 栢田圭兒

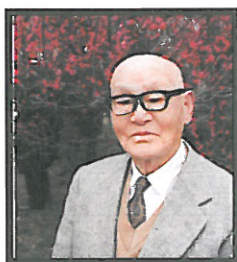
平成13年度 六稜同窓会 募金会計【決算報告】

科目	(二年度) 自：平成13年5月1日 至：平成14年4月30日	(累計) 自：平成12年5月1日 至：平成14年4月30日
●収入の部		
前年度繰越金	188,074,650	
1.募金収入	81,180,174	269,696,387
2.利息収入等	379,586	396,978
3.その他	0	3,000
収入合計	81,559,760	270,096,365
●支出の部		
1.建設会計へ	120,480,000	120,480,000
2.手数料等	286,890	748,845
支出合計	120,766,890	121,228,845
次年度繰越金	148,867,520	

以上の通り 平成13年度募金会計報告を致します。
平成14年5月20日 六稜同窓会会長 稲畑勝雄
本会計の正確であることを認めます。
平成14年5月20日 六稜同窓会監事 滝井尚三
六稜同窓会監事 栢田圭兒

水鳥先生のご逝去を悼む

水鳥先生は、英語の先生として約4半世紀の永年にわたり、北野にご勤務、その間「坊さん」または「坊主」の愛称で親しまれ、北野の歴史のすべてを知りつくされた《生き字引》のような存在で、他に類例のない名物教師であった。本年1月11日、満99歳のお誕生日の直前にご老衰のため、忽然と天国に旅立たれた。誠に慚愧に堪えない思いである。告別式当日、先生ご自慢の教え子の一人、森繁久彌氏から届いた弔電は下記の通りであった。



水鳥先生 長いこと可愛がっていただきまして、せめて百歳までと思っておりましたのに残念でございます。すみっこで、できの悪い私が泣いております。どうぞ天国でごゆっくりなさってください。 森繁久彌

在校時は英語の授業を受けたにすぎない私が水鳥先生と個人的に親しくなった経緯を述べ、余り知られていない晩年の先生の一面をご紹介します。

数年前のある日の早朝、偶然服部緑地公園の散歩仲間と一緒に歩いておられた先生に出会った。それが契機となり、私も先生のグループ「竹林会」の一員に加えてもらった。先生はこの方たちと厳寒期と雨天を除き、ほとんど毎日、公園内の通称「いなり山」から乗馬センターに至るコースを中心に、ご自宅から約7～8キロを雑談を交えて散歩を楽しんでおられた。散歩仲間との会話では、森繁久彌先輩のことがしばしば話題に上り、そのエピソードを誇らしげに語っておられたことが印象に残っている。

若い頃から登山がお好きで、百名山にはすべて登られ、米寿の頃には白山に登頂されたという。先生に私から今後も満百歳まで朝の散歩を続けてもらうよう進言した時、先のことには自信はないが、「満百歳の誕生日に北野の旧校舎の屋上で日の出を拝むことが夢である」とおっしゃっておられた。残念ながら遂にこの夢は叶えられず、先生にとっては、さぞかしご無念であったろうと思われる。

今はただ在りし日のご遺徳、ご温顔を偲びつつ、心からご冥福をお祈り申し上げる次第である。水鳥喜平先生どうか安らかに眠りください。合掌
平成14年7月25日 62期 戸川 啓 記

「募金者」一覧をご確認ください

今回同封の「第2次募金者一覧」は会館記名の確認としては最終号です。

会館建設募金受け付けは来年4月末日が期限ですが、会館建設は既に進んでおります。会館壁面への記名工事は本年11月に行いますが、今回の一覧表に基づいての記名といたします。

建設委員会といたしましては、皆様方の募金につきまして慎重に記録として整えてはおりますが、皆様方ももう一度この一覧表にてご自身のご確認をしていただきますようお願いいたします。

●「卒業期」の確認

●「姓・名」の確認

○現在の同窓会データに登録されている文字を使用しております。

○領収書はこの文字で差し上げております。

○使用している文字が違っている、または変更を要するときはご連絡ください。

○期ごとの氏名順位は、同窓会名簿作成時に採用した「五十音順」です。氏名の「読み誤り」等にて著しい変更のある方はご連絡下さい。

○変更、修正につきましては必ず郵便物・FAX・電子メールにて10月31日までにご連絡ください。



記名の様式

記名の場所	会館1階ホールガラス壁面
記名の大きさ	記名1人12 ³ / ₄ ×80 ³ / ₄ 程度
記名者数	総数約1万名 ガラス面総面積20平方 ³ / ₄ 程度
記名の方式	シルクスクリーン印刷
記名の内容	金額表記は無し 期毎順 男女別会員番号に基づいた 五十音順「姓・名」 (五十音順は現在事務局にて登録されているデータに基づいております)

期間中の募金者については、工事の進捗をみながら可能な限り記名させていただくよう努力いたします。

PARTY REPORTS

(開催日順に掲載)

※紙面の都合上、お寄せいただいた全文を掲載できないことをお詫び申し上げます。

盛会、観梅の宴

3月2日●六稜同窓会の年中行事である大阪城公園観梅会が今年は3月2日に行われた。1972年に北野創立百周年記念事業として梅の苗木880本を植樹してから今年で30年、既に大樹に育ち紅白の花今を盛りと咲き誇る中、90人余の同窓生が記念碑前に集うた。



梅林の奥まった場所に置かれていた記念碑も今年から見栄えの良い場所に移された。その前で例の赤い陣羽織を着用された佐野哲郎先生(61期)の指揮下に校歌を声高らかに歌い上げ、一時来園者の耳目を歎たしめた。

その後KKRホテルに会場を移しゆっくりと会食と歓談の時を持った。梅林の管理に当たられている澤陽一氏を招き、梅林植栽の珍しい品種について興味深い講話を聞き、次いで大阪城公園ボランティアガイドの浜口氏が大阪城の歴史と昨年11月開設した大阪歴史博物館の紹介、館長の脇田修氏(62期)が先日NHKテレビの「その時歴史が動いた」にゲスト出演された時の話など引用しながら持ち時間15分で話を手堅く纏められた。(岩本裕子・64期)

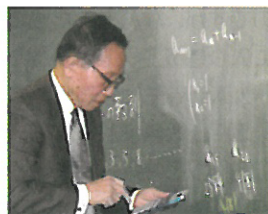
「昭和校舎さん、ありがとうの会」報告

3月23日●「昭和校舎さん、ありがとうの会」は好天にも恵まれ、多くの同窓生、特に80期代、90期代そして100期代の方々のご参加を得て無事開催され



ました。

記念授業については、福田先生の「物理法則と物理量」と題した名講義や、御堂岡先生のフィボナッチの数列から黄金比に至る論理的な授業には、受講者の皆さんも高校生時代に戻って生き活きとした若々しい顔になっていたように思います。ふたつの講義とも、40名の教室に70名近くの受講者が詰め掛け、むんむんとした熱気ほとばしる中で記念授業が行われました。(石倉秀敏・84期)



六稜63期同窓会

4月6日●お互いの古希を祝し、一層の隆盛にあやかるべく、躍進タイガースにゆかりの“ホテル阪神”に74名が参集。坂内君の司会で進行、物故者に黙祷、宮武君のリードで校歌斉唱、続いて世話人代表挨拶、堤さんの音頭で乾杯し宴開始となりました。

和歌山より参加の大手前移籍の坂田君と、はるばる東京からの皆さんを代表して国米君にも近況を話して貰いました。盛会の内に、堤さんより来年の同期同窓会の構想と新六稜同窓会館募金の1年期間延長の説明があり、再度の協力要請がなされました。最後に萩原君より挨拶があり、出席の富岡、比山、正岡の各位が夫々、六稜サッカー、ラグビー、バスケットの各部に大変貢献されている事が紹介され、来年4月5日に十三で再会する事を約束して散会しました。(阪田喜秋・63期)

89期(薬師寺先生クラス)および卓球部合同同窓会

4月6日●薬師寺先生を囲んで89期の1～3年時に担任をもっていただいたメンバー及び当時の卓球部のメンバー42名で合同同窓会をプラザオーサカ19Fで開きました。

1.北野高校の旧校舎・新校舎見学

旧校舎が取り壊されることになると聞いていたので昭和校舎はもう完全に跡形無しと思った

のですが、なんとまだ残っており、久しぶりに教室に入り感慨深いものがありました。

2.薬師寺先生の郷里訪問ビデオ上映

坂平氏・喜多村氏・引網氏・志村さん・本田さん(満部さん)が昨年10月に先生の郷里である愛媛県宇和島市に先生を訪ねていった時のビデオを放映しました。先生は今、広い畑で果樹・野菜作りの毎日らしいです。

3.出席者の近況報告

4.その他

同日に大先輩である「64会」の方々も高校で同窓会を開かれており、上田先生ともお会いできました。

(白石俊己・89期)

六稜六四会50周年記念祝賀会



4月6日●「六稜六四会」(昭和27年卒・64期)は50周年記念同窓会を、147名が母校に集い開催しました。

祝賀会オープン前、在校生有志の案内で新校舎を見学、往時授業開始を告げていた「鐘」の音を合図に多目的ホールへ集合。14時30分開会しました。

ー第1部ー【祝賀式典】開会の辞：平野豊(司会)

物故者(59名)追悼：全員黙祷 ご来賓恩師紹介：石田千代之輔 上田浩石 福田博造・和子(旧姓：津吉)夫妻各先生に元美女たちから花束贈呈 ご祝辞：石田千代之輔先生 挨拶：川本晴男(会長)

50年前への回帰>現役放送・吹奏楽部生徒たちが祖父母ともいえる世代の私たちの、あの頃の「姿」を蘇らせ、会場全体に感動の渦が巻き起こり、放送部員の紹介コメントと吹奏楽部員の演奏に感激の大拍手が続きました。



現在への帰還>

シャンソン：川島 弘

(独唱) 1946～52年、

私たちが在校当時流行した「枯葉」など。



大合唱：女性全員の「ローレライ」斉唱は、あの頃を美しく懐古。男女全員参加での「青い山脈」は吹奏楽部生徒の伴奏で、歌声は会場全体を溢れんばかりに揺るがしました。

新六稜会館建設募金：足立一郎(学年理事)から現況報告と更なる協力をお願いしました。

【構成・演出：平野豊/スタッフ統括：茂木三夫】
ー記念写真撮影ー 山口 茂(撮影)：懐かしの旧校舎を背景にした俯瞰アングルで実施しました。～プラザオーサカへ移動～

ー第2部ー【懇親会】16時30分上記ホテル「雅の間」にて上田浩石先生のご発声・乾杯で開宴。興津純子さんが「席に座っている人が殆どいないぐらい皆喋り歩いているうちに、もうお開きの時間」とその感激をWEBで報告しています。全員が楽しく過ごしたパーティは、校歌の大合唱で閉幕しました。

末筆ながら、今回の「記念祝賀会」実施に多大のご協力を賜った現職の先生方や在校生の皆様へ感謝いたします。(平野 豊・64期)

六稜67期同窓会



4月13日●昭和30年卒・67期の同期会を開きました。先ず正午、旧会議室にて受付開始、12時半旧正門前にて寺田正一郎先生・石田千代之輔先生・福田博造先生にもお入りいただいたの記念撮影。ところがカメラマンの「はい、とりますよ!」の声で皆が居住まいを正したところへ「あっ、ちょっと待って!」と一人、「はい、ではもう一度!」で又一人、次々と遅刻組が現れ「もうこれ以上遅れたら黒枠や!」と後方からの声、やっと何回目かにOKになったのがこの写真です。

その後、三々五々プラザオーサカへ移動し1時よ

り開宴、先ずこの二年間で新たに鬼籍に入られた方々への黙祷を捧げ、新六稜会館への再度の寄付のお願いからのスタートとなりました。途中先生方を囲んでクラス別の写真も撮りあつという間の2時間余のひとときでした。当日出席の皆様方の精進が良かったからでしょう、前日までとは打って変わってさわやかなお日和となり次回2年後の再会を約して無事閉会となりました。(日高 穂・67期)

60期・入学60周年記念同窓会

4月17日●昭和17年(1942)入学から60周年を迎えた第60期生65名が北区、東洋ホテルに参集。中には遙々東京、千葉、神奈川、福岡から6名、何年振りも4名、外に夫人同伴3名。



記念写真撮影後、この1年間の物故者、(最後の恩師、水鳥喜平先生と同窓生3名)に黙祷。司会の開会宣言後、幹事挨拶、60期同窓会幹事・新六稜会館60期募金委員の報告、関東地区60期同期会の活動報告、受付をしてもらった後輩女性2名の紹介や連絡事項があった。

そこでやっとな乾杯、待ち兼ねたように歓談と食事が始まり、間をぬって生島幹三君より1月11日亡くなられた「水鳥先生を偲んで」の話、三島佑一君の仏教聖歌集『父母の歌、観音様と私』の作詞の経緯とその歌の披露、平成13年度春の藍綬褒章に輝いた福田規雄君への祝辞、と続いた。

戦前、戦中を体験し、戦後をがむしゃらに生きてきた60期生も殆どがフリーの身。思い出話に最近の話題が交錯し、毎年のことながら想いは尽きなかった。最後に次年度幹事の紹介、校歌斉唱で閉会とした後も、話の輪がいくつも残る有り様であった。

(60期幹事一同)

北中記念碑の集い2002

4月20日●肌寒さを少し感じさせる風の吹く薄曇りの春の一日、恒例となりました北中記念碑の集いが、母校の創立記念日を祝って済生会中津病院でおこなわれました。参加40名。



碑のそばに献花し、高らかに校歌を歌い上げると、「六稜の星」の御旗は翻り、竣工してオープンを待つばかりの屹立とした済生会病院の高層新棟もその表情を引き締めている



ようでした。

現地での式典が終了した後、ホテルサンルート梅田へ会場を移し会食。

13:15に会はお開きとなり、楽しい余韻の中、めいめい帰宅の途に着きました。(砂野陽一・101期)

東京六稜会 平成14年度 第45回総会

東京六稜会の第45回総会が6月7日(金)千代田区丸の内のお堀端にある東京商工会議所8F「東商スカイルーム」にて開催された。

出席者は190名にのぼり、大阪からも中垣校長(六稜同窓会名誉会長)、稲畑六稜同窓会長、山本六稜会副会長、新原事務局長、鎌田先生、福田先生ほか多数で出席いただいた。

第一部 総会

午後6時から第一部総会が開始された。司会は83期の上林英雄氏(在校当時応援団長)が担当した。なお、司会は今回から当番期が担当することとなった。

冒頭、事務局から13年度会計報告と東京六稜会役員改選が諮られた。黒岩事務局長(75期)から提案内容の説明があり、原案どおり承認された。

大山利雄東京六稜会会長(56期)の開会挨拶に続き、中垣芳隆北野高等学校校長(東京六稜会名誉会長)にご挨拶いた



だいた。中垣校長は着任の挨拶のあと、北野高校の現状を校舍改築状況と教育事情の二面から報告。

続いて稲畑勝雄六稜同窓会会長(56期)が挨拶され、同窓会館募金へのさらなるご協力をお願いする旨述べられた。



次に、山本次郎六稜同窓会副委員長・同窓会館建設委員長（62期）からご挨拶があり、同窓会館の建設経過について詳細なご説明をいただいた。

第二部 講演
「建築の気・品」
83期吉羽（真銅）
裕子さん

建築物は、技術的に・性能的に満たされればいいというわけではなく、感動をもたらすものであったり、驚きをもたらすものであったり、心地よさを求めるものでもあり、自分の住まいに洗練さを求める人もいる。商業的施設であれば目立つことも必要となってくる。こうしたことを総合したところで、「気」と「品」の2つが融合したところに建築があるという意味で、タイトルを「建築の気・品」としたと述べ始められ、建築と環境の関りの視点から建築物の歴史をスライドを使って説明。そのあと、吉羽さんご自身の携わった建築物の紹介を通して、これからの建築物に課せられた問題について論じられた。

第三部は懇親パーティで、当番期代表の挨拶、来賓出席会員のご挨拶があり当番期83期の主導でビンゴゲームで老若男女大いに盛り上がった。

最後は、新会員紹介、新会員代表の挨拶、次期当番期84期の紹介と続き、校歌「六稜の星」を全員で高らかに歌い上げ散会した。

次回総会は、平成15年6月6日（金）午後6時から、同会場（東商スカイルーム）の予定。

65会2002…医師のアドバイス講演も

6月8日●梅雨入り直前の晴天、新大阪ワシントンホテルプラザに、今年は故小池義人先生夫人の美代子先生（旧姓広脇）が久々にお見えになり、稲葉憲一郎先生、山崎馨先生、関谷全先生とともに迎えできて、嬉しくも出席者も111名と昨年を上回る盛会となった。

岡田一彦会長の開会挨拶で、フラワーデザイナー・丸本池鶴さんの黄綬褒章受賞という快挙が報告された。次いで、福森英雄医師の『老いても自律的に自立した生活を』という講演。我々の年代に大変参考になる話で、みんな傾聴していた。

乾杯後は、飲んで、食べて、しゃべって、テーブル間を行ったり来たり。賑やかこの上ない。宴なかば、65MLの活動の一端、大隅徳保さん指導の俳句愛好者の集い「句遊会」が紹介された。

例年のごとく記念撮影後、校歌の大合唱で閉会としたが、名残り尽きず二次会は1時間も延長。年々盛り上がる65会であった。（小野京子）



一枚のタイルに昭和校舎の思いを込めて

6月23日・30日●昭和校舎の解体された瓦礫の中から校舎に貼られいたタイルを剥がす為に同窓生が集まった。

1931年（昭和6年）4月、昭和校舎は新築された。設計者は大阪府営繕課勤務の西田勇氏であった。西田氏が六稜会報14号に寄せられた「北野中学校建設当時の回想」によると、…無味乾燥になりがちな学校建築に少しでもうおいをとの願いから、当時の学校建築としてはあまり例のない外部を全面タイル貼りにしたことで豪華な仕上げになった。校舎階段室、内部腰部分共タイルを用い、特に玄関ホールは二階まで吹抜き、全面彫刻タイル貼り。玄関正面階段の踊場を利用して講堂に出入りする設計であるが、その階段の蹴込みには、京都五条坂の宇野焼美術タイルを使用した贅沢な仕上げである。外部タイルは大阪窯業平坂工場焼き。見本焼きが焼き上がると現地平坂に出向き、外部に並べて検査、承認して使用した。手造りならではの色むらや凹凸が、かえって味わいを深くし、建物を引き立てたように思われる…（六稜会報14号より編集して引用）

この様にしてできた昭和校舎に何人の生徒が通ったのであろうか。昭和7年3月に終了・卒業した264名から平成14年3月に卒業した357名まで、実に31,000余名が学んだ事になる。旧校舎は第二次世界大戦中昭和20年7月のある日の午後、米軍グラマン戦闘機による機銃掃射を浴びた。その傷跡は新校舎に「弾痕の碑」として保存されている。タイル剥がしの6月23日には二本の柱だけが残っていた。30日には跡形もなく壊されてしまっていた。同窓生は71年間の歴史を刻んだ最後のタイルを瓦礫の中から「ノミとツチ」で剥がし、タイルの裏についたセメントを落として持ちかえた。これからはそれぞれ

れの場所でそれぞれの思い出をさらに刻み、語られていくでしょう。

なお、玄関ホールの彫刻タイルは額をつけ装飾品として同窓会で頒布しております。

(神宅寿昭・67期／タイル担当常任理事)



第13期別対抗ゴルフ

強風の中、72期が連覇

7月14日●第13回六稜期別対抗ゴルフ大会は強風吹き荒れる7月14日三田カントリー 27にて100余名の参加者をもって開催、無事終了しました。

■チームグロス順位

順位	チーム	Gross
優勝	72期	368.4
準優勝	68/73/88期	369.2
3位	66/67期	377.0
4位	75期	377.8
5位	76期A	379.6
6位	70期	380.4
7位	69/74期	381.8
8位	62/63/78/100期	382.0
9位	76期B	386.0
10位	81期	387.2
11位	91期	392.8

■個人グロス順位

●男子

順位	名前	Gross
優勝	上條孝二(68期)	73
準優勝	藤本紀男(72期)	78
3位	石井克己(75期)	82

●女子

順位	名前	Gross
優勝	森本諄子(68期)	86
準優勝	小野真子(69期)	94
3位	前川正子(72期)	100

同期会は楽し～59期～

北野中学校卒業生の中で、唯一全員四年生で卒業したクラスです。アジア太平洋戦争の激化にともなう処置であり、北中生として一番多くの学友が、陸海軍の各種学校や、予科練や特幹などの少年兵を志願したクラスです。3月卒業8月敗戦という中で、多くの学友が進路変更を余儀なくされました。当時のことを同期の手塚君がマンガで描いていますが、空爆死二名の他に不明者もあります。又、その手塚君を始め物故者も多く、六稜会報38号によると、前後の期生に比べ人数が少ないクラスなのに、無念の想いがあります。

同期会は1995年11月に、卒業50周年を記念して全国から70余名が集まり、宝塚ホテルで行いました。その後、99年に京都の音羽山清水寺に40余名が集まり、61名の物故者の法要も併せて行いましたが、

その後は催しておりません。

今はあまり動きのない59期ですが、1985年に幹事や編集委員の二年間にわたる執念の取り組みで、93名が執筆した400余頁の記念文集「北野中学の思い出」をはっこうしています。戦争下の北中生の姿が日記などを加えて、生き生きと描かれていて、当時を知る素晴らしい文集だと、今も閲覧希望者からの問い合わせがあります。

近年は大きな会合は催されていませんが、豊中池田などの北摂地区にすむ仲間が、六稜北摂五九老(ご苦労のモジリ)会と名付け、年に二回ほど集まって懇談しています。最近は他地区からの参加や、夫婦参加が多くなり、会は華やかに?、そして賑やかになっています。今年も5月19日に、梅田・新阪急ホテルで催し、お互いの健康を祝し、遅くまで歓談しました。(写真・文 岡原 進)



84期同期会開催のお知らせ

日時 平成14年10月5日(土)
午後4時30分～
場所 ホテル阪急インターナショナル
TEL06-6377-2100
大阪市北区茶屋町
会費 8,000円

80期同期会開催のお知らせ

日時 平成14年10月13日(日)
翌日は休日です
受付 午後5時30分 開始午後6時～
場所 リーガロイヤルホテル
TEL06-6448-1121
大阪市北区中之島5丁目3番68号
会費 10,000円

新六稜会館1階正面に大型陶壁を設置します

和太守卑良氏(74期)寄贈の大作(2.4m×4.8m)ですが和太氏はNHK教育TV趣味悠々(月曜夜9時35分から)で「陶芸入門講座和太流で土と遊ぶ」を9月30日スタートで年末まで放送されます。

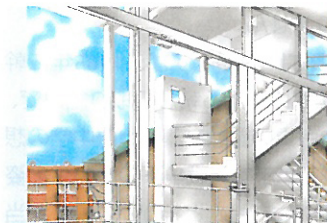


イラスト 河原優子(114期)

母校の窓

■職員異動

【御退職】

秋田典昭校長(H9～H14)が、3月で退職になりました。5年の任期中は校舎改築のただ中に当たり、まさに旧から新への学校改革の礎を築くことに腐心されました。また、同窓会活動、とりわけ同窓会館建設に関しても深いご理解とご協力をいただきました。現在は立命館大学教授としてご活躍です。

【御転任】

奈良芳信先生(社会H5～、在職9年)
西寝屋川高校へ
岡本 浩先生(社会H3～、在職11年)
茨田高校へ
西川禎一先生(数学H4～、在職10年)
桃谷高校昼間定時制課程へ
山本周一先生(美術H7～、在職7年)
茨木東高校に
東野秀夫主査(事務H11～、在職3年)
西寝屋川高校に
それぞれ御転任になりました。

【御着任】

次の教職員の方々をお迎えしました。
中垣芳隆校長
箕面市教育長から
的井洋二先生(社会 北野78期)
住之江高校から
鎌岡慎一郎先生(数学)
新任
三谷和歌子先生(養護助教諭)
清水谷・千里高校から
杉井美恵子主査(事務)
芥川高校から

【非常勤講師等】

御退職 稲賀加奈子先生(家庭)
御着任 植草美里先生(美術)

■全国大会出場激励金

平成14年度

・全国高等学校総合体育大会
【登山競技の部】

高木祐介・大西祐二
田中昭雄・後 英樹
(山岳部男子団体3年)
安原 瞳・高井知子
船田綾子・俣野怜子
(女子団体2年)

《なお、男子は9年連続出場、男女アベック出場は初の快挙です。》

※規定に従って激励金が授与されま

した。有難うございました。

■六稜Web主催英作文コンテスト

平成14年度の第5回六稜Web英作文コンテスト(審査委員長 佐野哲郎京大名誉教授61期)の審査結果および委員長講評は次の通り。6月9日六稜祭当日、校長室にて表彰式が行われた。

●優秀賞

荒井 恵(3年)

"Happiness with Poor life"

「題材がいい上に、軽やかな書き出しに始まり、簡にして要を得た説明を経て重い主題に発展しながら、貧しい国の子供達が学ぶことにどれほど喜びを見いだしているかを、自己反省を含めて紹介しているのが、優れていると思います。誤りもほとんどありませんでした。」

●佳作

水野恵介(3年)

"A Charm of Kitano I found"

西田耕太郎(2年)

"Future of Japan"



■平成13年度文化活動振興賞

しばらく受賞者なしが続いていた文化活動振興賞は、久々に複数受賞となり、六稜祭当日、校長室で表彰式が行われ、本賞の盾と副賞が審査委員長の山本次郎同窓会副会長(62期)より授与された。受賞者並びに受賞理由は次の通り。



吹奏楽部

・第38回～第40回大阪府高等学校吹奏楽コンクール(H11～13年)
3年連続金賞受賞・北地区代表の実績に対して

久成晋平

・第40回全国高等学校生徒英作文コンテスト2・3年の部における最優秀および文部科学大臣奨励賞受賞に対して
なお、文化活動助成金は、本年も該当者なしとなった。

■国際交流活動報告

●派遣：前号38号でお知らせしましたように、9.11のテロ事件後のアメリカ国内の情勢、とくに行動の安全性を考慮し、本年3月の教員・生徒の派遣は中止いたしました。

●受け入れ：本年のケント校との交流は、以前から受け入れ協力をしております阿武野高校の創立20周年行事に協力する形で、ケント地区の高校のバスケットボールチームを中心に教員4名、生徒16名を招聘し、阿武野・北野両校との親善試合および薫英・大商学園チームとの交流試合を企画し実施いたしました。

本校での学校生活体験および交流は、女性教員2名、生徒9名を受け入れ、短時日でしたが、実のある交流ができました。

●広報活動：6月の六稜祭では、六稜同窓会のブースと同じ部屋で、ケント校との交流活動の紹介を中心に、ケントとの交流の端緒となった嘉納治五郎の書などを展示しました。

■北野高校 国際交流基金にご協力を！！

平成5年の基金設立以来、同窓の先輩諸氏から折々のご厚志を賜り、基金の利息運用だけでは不十分な交流活動をより活発に充実したものにすべく役立たせていただいております。厚く御礼申し上げますとともに、今後なお広くご支援賜りますようお願い申し上げます。

■クラブだより

.....運動部(50音順)

【合気道部】現在部員は2年生男子2名、女子3名、1年生男子6名、女子5名の計16名です。練習は主に平日のみで、昼・放課後は毎日練習をしています。また月に一度師範の先生に練習を付けていただいています。その日には、OB・OGの方もたくさん来られるので、普段よりも密度の高い練習ができ、とてもうれしく思っています。部員一人一人がそれぞれ課題を持って常に上のレベルを目指し、日々練習に励んでいます。六稜祭では演武会を催し、日頃の成果を発揮しています。これからもそれぞれの目標に向かってがんばっていきますので、先輩の方々も是非ご指導にいらして下さい。部員一同心よりお待ちしております。

【応援部】なし

【器械体操部】OBの皆さん、一生懸命練習していますので、時間があれば指導に来てください。

【大阪府春季大会】(4月)

男子 個人総合 6位
活動 月火水金土

【剣道部】春になり、3年生が引退し、また今年も世代交代がありました。今から一年間、残った1、2年生で先輩方やOBさん方の教えを忘れず、しっかり頑張っています。そして大会などで上の方へ行けるように一生懸命稽古に励んでいきます。今年の剣道部の活躍にご期待ください!!

【高校総体大阪予選】

団体 男子 3回戦敗退
団体 女子 1回戦敗退

【硬式野球部】いろいろな不安要因の中でも、みなさんを驚かせるような結果が出せるようにがんばりますので、またお暇があれば応援よろしく願います。

【春季大会】

1回戦(4/27)
○7-0南(7回コールド)
2回戦(4/29)
○10-0福井(7回コールド)
3回戦(5/3) ○9-4渋谷
4回戦(5/5) ●1-3同志社香里
【市岡定期戦】(6/1)
●2-8市岡

【サッカー部】

【新人戦】

1回戦 ●1-2茨田

【春季大会】

1回戦 不戦勝
2回戦 ○1-1成城工業 PK5-4
3回戦 ●0-3三国丘

【山岳部】現在、3年生4人、2年生8人、1年生8人、計20人で活動しています。今年も1年生に女子が入り、さらに活気づいた僕たち六稜山岳部は夏のインターハイとアルプスへの夏山合宿に向けて毎日練習しています、さあ、山の空気・景色・おいを味わいたい人、一度山岳部の部室を覗きにきてみてください。

【大阪府春季登山大会】

男女とも優勝
男子優勝は9年連続で大会新記録、
インターハイ9年連続出場

【柔道部】部員は1年生が2名、2年生4名、3年生1名(6月12日現在)

活動時間 平 日 15:30~17:30
土曜日 13:30~16:00
OBさんへ 部員が少なく、試合でよい

成績を残すことができていません。楽しく練習していますが、やはりそれだけでは……。強くなるために少しでも指導いただければ幸いです。

【第20回北地区学年別大会】(1/26)

北野1-2関大一高

【第21回大村杯争奪高校生柔道大会】(3/21)

出場

【大阪高等学校柔道大会北地区予選】(4/27)

北野0-3金光大阪

【水泳部】現在は1年生が25人入部し、60名を超える人数で活動しています。また今シーズンは5月2日より泳ぎ始めていて、今は6月23日の地区大会、28~30日の中央大会に向けて日々練習を重ねています、

【ソフトボール部】

【つくし杯】

Aグループ予選(3/23,24,29)

●1-8山田
○10-0北千里
決勝トーナメント
●5-7千里
●1-5少路
●4-6山田

【公立研修リーグ春期】(4/6,7,14)

予選リーグ

●0-10堺商業
●3-4富田林
●0-10千里

決勝リーグ

○12-2大阪市立
○7-2少路
●6-9長野・狭山(連合)4部 2位
【インターハイ予選】(6/2)
○10-0大阪桐蔭
●3-13三島

【卓球部】月・隔週木がトレーニング
火曜日・隔週木曜日が体育館1階剣道場
水・金曜日が体育館2階で練習しています
近畿大会目指して活動中です!!

【北摂大会】(春)

男子シングルス 第3位
男子ダブルス 優勝
男子学校対抗 第3位

【国体予選】

男子シングルス ベスト64

【高校選手権】

男子シングルス ベスト128
男子ダブルス ベスト64
男子学校対抗 ベスト64

【女子テニス部】今コートが工事中で環境は悪いのですが、ほぼ毎日練習しています。

【男子テニス部】学校の工事等でコート状況が悪く、練習量も減り、とても環境が悪いのですが、逆境を乗り越えてがんばっています。しかし、年々成績が

思うように伸びず、部員皆が焦っています。先輩方のお力をお貸しください。そして“強い北野”を目指したいと思います。

【栗田杯】(団体)(1/12~14) 本選出場

【市岡定期戦】(3/9) ○3-2

【サンケイジュニア】(3/11~17)

ベスト8

【大阪ジュニア】(3/18~27) 予選敗退

【春季総体】(3/31~4/7) 本選出場

【春季団体】(4/20~28) 本選出場 ※

※今後の予定…6月：赤坂杯、8月：公立団体、高校総体

【女子バスケットボール部】先輩が引退して、5月から1、2年生計10名の新チームで練習しています。部員が少ないので、いつでも私たちの練習相手にいらして下さい

【新人戦地区予選】(1/13から)

1回戦 ○45-33 山田
2回戦 ●38-47 茨木西

【インターハイ予選】

1回戦 ○39-38 追手門
2回戦 ●37-57 摂津

【男子バスケットボール部】

【新人戦北地区大会】(1/13~14,20)

1回戦 ○89-67 関西大倉
2回戦 ○57-49 三島
3回戦 ●78-102 大阪

【四校定期戦】(4/4)

○神戸 ○灘 優勝

【インターハイ予選】(4/28)

1回戦 ●73-76 磯島高校

【バドミントン部】2年生15人、1年生16人で楽しく頑張っています。毎日朝練、昼練、放課を欠かさずしています。最大の目標はインターハイ出場です。OB・OGの皆さんが指導をしに来て下されば嬉しいです。僕たちの技術向上のために力を貸して下さい。お待ちしております。

【第56回大阪高等学校春季バドミントン競技会】

男子シングルス ベスト16

男子ダブルス 3位

【女子バレーボール部】OB・OGの皆さん応援よろしく願います。

【春季部別】

○2-0 勝山
○2-0 関西大倉
○2-1 大体大浪商 4部優勝

【西田杯】

予選リーグ

○2-0 関大一高
○2-0 箕面自由
○2-0 島本

決勝トーナメント

○2-0 高槻南
準決勝 ●0-2 阿武野 第3位

【豊能大会】

○2-0 池田北
●0-2 桜塚 予選敗退
[近畿大会予選]
1回戦 ○2-0 夕陽丘
2回戦 ○2-0 羽曳野
3回戦 ●0-2 八尾]

【男子バレーボール部】

[春高バレー] (1/20)
○2-1 布施
●0-2 藤井寺工業
[西田杯] (3/23)
●0-2 関大一高
○2-0 箕面自由
[近畿大会一次予選] (部別) (4/28)
●0-2 守口北
●1-2 豊中
○2-1 此花総合
[豊能大会] (5/3)
○2-0 豊島
●0-2 刀根山
●0-2 教育大池田
[近畿大会二次トーナメント] (6/9)
●0-2 桃山学院

【女子ハンドボール部】 現在1年生9人、2年生8人でOBさんの指導の下、練習を行っています。春のブロック大会では2回戦負けという結果になりましたが、これから練習を積んで中央大会に勝ち進み、1勝を目標として頑張っています。
[ブロック大会] (4/28、29、5/3)
●1-3 茨木
○5-1 箕面
●4-15 豊中

【男子ハンドボール部】

[インターハイ予選ブロック大会] (5/3)
●10-18 千里

【ラグビー部】 ラグビー部は、夏に行われる定期戦、3年生にとっては最後の試合となる全国大会大阪府予選に向けて、暑中毎日河川敷で練習に励んでいます。辛く苦しい時もありますが、部員一同「花園出場」を目標にして頑張っています。応援よろしくお願いします。

[近畿大会大阪府予選] (新人戦)

1回戦 ○43-0 寝屋川
2回戦 ●7-58 布施工業
[大阪総合体育大会] (春季大会)
1回戦 ●14-15 太成

※今後の予定

合宿 8/1~4 ハチ高原
8/16~19 菅平(8/17vs早稲田)
8/25 定期戦 vs神戸

【陸上競技部】 活動日は、月~土で日曜日はoffです。短距離は河川敷グラウンド、中長距離は河川で練習しています。校舎の改築工事のため、練習場所がなく

なりましたが、それなりに頑張っていきたいと思っています。部員の目標は、全国大会です。目標に向かって頑張っています。これからもあたたかいご支援をよろしくお願い致します。

[インターハイ地区大会]

男子 4×100mR 43'79 3位
4×400mR 3'31"23
女子 4×100mR 53"12
4×400mR 4'17
100m 13"31

[インターハイ大阪大会]

男子 4×100mR 42'69 7位
女子 4×400mR 4'15"80 9位

.....文化部(50音順)

【囲碁将棋部】

[第26回大阪府高等学校将棋選手権大会]
個人戦の部 C級8位 (6/2)
[第26回大阪府高等学校囲碁選手権大会]
(5/11、12)
個人戦の部 Cブロック 優勝
団体戦の部 男子 10位
女子 2位(準優勝)
予定 6月16日
第26回大阪府高等学校将棋選手権大会
団体戦の部 出場予定

【ESS部】 週一回活動しています。この夏でジュディ・アン先生がカナダへ帰ってしまうので、送別会を予定しています。新しいALTの先生が来たらまた一緒に活動するつもりです。

【映画研究部】 なし

【園芸同好会】 本年も部員はわずかですが、先日のお六祭で「六稜園芸店」を開くことができました。2年前から新館の玄関前に少しずつ植えていったアジサイが元気に成長し、現在満開です。(6月12日現在) 今年もさらに6株ほど植え足しました。この2月に新館西側へ移植された笹部校は、順調に枝を伸ばしているようです。

【演劇部】 1年生2名、2年生2名の計4名で、毎週火曜の放課後活動しています。人数が少ないので、上演可能な作品は限られています。精一杯練習しています。今後は、4月の新入生歓迎公演およびお六祭での公演を予定しています。

【オーケストラ部】 現在部員50名で活動中です。今年は1年生もたくさん入り、みんなで日々楽しく練習しています。尚、毎週月~金に音楽室にて練習しています。

[扇町教会] 音楽礼拝に参加 (1/13)

[北野高校文化芸術祭] (2/7)

ドヴォルザーク作曲「スラブ舞曲第8番」

久石 譲作曲「ふたたび」
(映画「千と千尋の神隠し」より)
ハイドン作曲「天地創造」より終曲「ハレルヤ」
[大阪府高校芸術文化祭] 出場 (2/10)
ドヴォルザーク作曲「スラブ舞曲第8番」
久石 譲作曲「ふたたび」
(映画「千と千尋の神隠し」より)
[新入生歓迎演奏会] (4月) 曲目未定
[定期演奏会(六稜祭)] (6月)
ベートーヴェン作曲「交響曲第一番」
合宿(ハチ高原にて) (8月)

【化学研究部】 化学研究部は現在11名で毎週月・火曜に活動中です。昨年度は、かねてからの予定であったスライムやろうそくの火に色を付けることのほか、ガラス細工、燃料電池の研究なども行いました。また、今春からはカフェインの抽出実験なども行っています。お六祭では、普段の活動の報告や、液体窒素を用いた簡単な実験、参加・体験型のものとして、ガラス細工や炎色反応ろうそく作りなどを行いました。今後いろいろな実験に取り組んでいきたいと考えておりますので、よろしくお願い致します。

【クイズ研究同好会】 ただ今年生の部員がいなくて大変困っています。

活動日 ・・・水・金の放課後

これからはクイズ研究同好会はその名の通り、クイズを研究していき、そしてやがては全国の「クイズプレーヤー」にその名が知れ渡るようにしたいと思います。

【コーラス部】 部員も徐々に増え、そろそろ練習が始められそうです。男子部員も入りました。外部での発表を目指してがんばります。

【書道部】 現在部員は2年生5人で、毎週月曜日に活動しています。文化芸術祭、お六祭に作品を出品します。

【写真部】 3年生部員も引退し、現在部員が1名になってしまいました。しかし、1人でも積極的に活動しています。今後はお六祭での作品の出展、たいいく大会や校内でのイベント時での撮影を主に活動していく予定です。

【新聞部】 現在部員0、崖っぷち状態のお六新聞部です。興味のある方、なにとぞよろしくお願いします。(切実です)

【吹奏楽部】 現在部員は、1年生22名、2年生28名、3年生26名で、いつも明るく活動しています。たくさんの方達の心に響く演奏を目指して今後も頑張っていこうと思っていますので、暖かいご声援のほどよろしくお願い致します。

〔北野高校文化芸術祭〕
 (2/7、メルパルクホール)
 〔春季合宿〕(3/23～26)
 (ヤマハミュージックキャンプ合歓の郷)
 〔卒業50周年六稜六四期同窓会〕(4/6) 演奏
 〔第五回定期演奏会〕(5/6)
 (池田アゼリアホール)
 「幸せの黄色いリボン」「ピータール」
 〔六稜祭〕(6/9)
 「学園天国」「ミス・ア・シング」など

〔生物研究部〕現在1年生4名、2年生2名で活動中です。六稜祭では当面の課題であった細胞融合に関する展示のほか、野菜からのDNAの抽出や花粉管の原形質流動などの展示も行いました。今後は部誌「LUPE」の復活も目指してがんばっていききたいと思います。

〔地学研究部〕現在部員は8名います。毎週水曜日に地学教室で活動しています。内容は主に、鉱物採集、天体観測などです。夏には長期合宿も計画しています。

〔野外地層見学〕(4/28)
 高槻にある摂津峡へ
 4月に2回 天体観測を実施
 〔六稜祭〕貝の化石、鉱物、旧天体望遠鏡展示、プラネタリウムを上映。

〔美術部〕
 〔第1ブロック展〕(1/20～27)

箕面市立メイプルホール
 油彩3点、水彩4点、ウッドイー
 チェーンを出品。

〔芸文祭コンクール展〕(1/20～27)
 ユースアートギャラリー
 油絵1点 入選

3月 年誌の表紙制作、中のカット絵制作
 5月 球技大会のプログラム表紙制作
 〔六稜祭〕(6/9) 看板制作 (3年)

去年の六稜祭以後の新作展示
 油絵17点、巨大はり絵1点(2年)
 また今年は新しい試みで、先生方に「芸術とは……だ」というコメントをいただきまとめてはりました。そして、今回は入場者数を調べました。なんと一般入場者数は300人を超えました。また、たくさんの感想もいただき、ありがとうございました。今は、目前に迫っている高校展に向けて、日々悪戦苦闘中です。

〔物理研究部〕なし

〔文芸部〕昨年同様、2月文化芸術祭の日に配布する部誌「幻」を発刊します。加えてその前に、今秋にも「幻」を発刊する予定です。文芸部は北野の文化部で最も伝統あるクラブです。6月現在、いまだ部の将来を担う1年生は入っておりませんが、だからこそますます活発に活動していきます。文章は人それぞれのさまざまな考えをぶつけ

合うことで進歩します。ということで常時部員募集中！学年および性別は勿論不問。週末の食堂にめいめい集まるので気軽にどうぞ。現在部員は3年4名、2年4名です。

〔漫画研究同好会〕現在1年生女子3人で活動中です。六稜祭と文芸祭に合わせて、部誌の発行も続けています。また、夏に府下の高校の漫研が共同で開催する「漫画連合祭」にも参加しています。

〔放送部〕
 〔文化芸術祭〕(2/7) 司会
 アナウンス女子4名、男子1名で和気藹々と活動しています。昼の放送や放課後(月・水)の活動をしています。昨年6月のNHK杯では、アナウンス部門に2名出場し、1名が大阪府決勝に進出しました。



平成14年度全国高校総体登山大会
 (2002年8月2日～6日 茨城県久慈郡大子町)

■大学合格者数一覧(H14.4.30現在)

国立	男	女	計
旭川医科大学	1	1	
北海道大学	4	2	6
東北大学	3	3	
秋田大学		1	1
山形大学		1	1
筑波大学	4	1	5
千葉大学	1	1	2
お茶の水女子大学		1	1
東京大学	1	1	
東京芸術大学	1	1	
東京農工大学	1	1	
横浜国立大学	1	1	
新潟大学	1	1	
金沢大学		2	2
福井医科大学		1	1
信州大学	2	1	3
名古屋大学	2	2	
三重大学	2	2	
滋賀大学		1	1
京都大学	40	8	48
京都教育大学	1	1	2
京都工芸繊維大学	10	10	
大阪大学	29	18	47
大阪外国語大学	1	2	3
大阪教育大学	1	5	6
神戸大学	16	22	38
兵庫教育大学		1	1
奈良教育大学		1	1
奈良女子大学		7	7
和歌山大学	1	1	
鳥取大学	1	2	3

岡山大学	1	1	
広島大学	1	1	
山口大学	1	1	
香川大学	1	1	
徳島大学	2	1	3
高知医科大学	2	2	
九州大学	1	1	
合計	129	84	213

公立	男	女	計
新潟県立看護大学	1	1	
滋賀県立大学	1	1	
京都府立医科大学	2	2	
大阪市立大学	9	10	19
大阪府立大学	12	6	18
神戸商科大学		1	1
神戸市看護大学	1	1	
姫路工業大学	3	3	
兵庫県立看護大学	1	1	
奈良県立医科大学	1	1	
九州歯科大学	1	1	
合計	25	24	49

私立	男	女	計
慶應義塾大学	14	7	21
上智大学	3	3	6
東京理科大学	4	2	6
早稲田大学	17	8	25
京都女子大学		5	5
京都薬科大学	1	9	10
同志社大学	45	21	66
同志社女子大学		5	5

立命館大学	47	29	76
大阪薬科大学		11	11
関西大学	18	29	47
近畿大学	4	9	13
関西学院大学	37	51	88
甲南大学	2	7	9
神戸薬科大学		11	11
兵庫医科大学	2	3	5
武庫川女子大学		7	7
その他(5名未満の大学)	23	40	63
合計	217	257	474

短期大学	男	女	計
京都大医療技術短大	1	1	
京都市立看護短大	1	1	
大府看護医療技術短大	2	2	
武庫川女子大短	3	3	
合計	0	7	7

準大学等	男	女	合計
防衛大学校	3		3
気象大学校	1		1
水産大学校		2	2
合計	4	2	6

専修学校等	男	女	合計
合計	1	3	4

就職	男	女	合計
	0	0	0

六稜同窓会129周年総会 開催のご案内

日時 2002年10月27日（日）

総会の部

【北野高校 多目的ホールにて】

11:30 受付開始
12:30～13:30 総会
・各種議事・報告
・会館建設関係報告

●六稜同窓会100年に一度の大事業
（会館建設関係報告）

●会館プロジェクト
苦しくもあり 楽しくもあり
（着工までの経過概要）

会館建設現場（外観）見学

13:30～14:15

●21世紀の六稜人の夢、
その全貌を現す
（建設状況スライド放映）

懇親パーティー

【ホテルプラザ・オーサカ 1階 雅の間】

14:30～16:00 会費 5,000円

※ただし、110期（H10卒）以降（卒業5年以内）

と58期（S20年卒）以前の方は無料

幹事期：83期

●この会館でこんな素晴らしい
時間が過ごせます
（運営検討状況）

●同窓生の意気が熱く燃えています
（募金達成状況）



六稜出版会刊行

『われら六稜人～北野卒業生へのインタビュー』

2002年版

59期（故）手塚治虫 65期 小野京子
99期 八木 剛 74期 和太守卑良
61期 北野栄三 99期 辰巳知行
74期 藤岡義孝 64期 土井陽子
57期 大庭 脩 64期 段 元培
40期 大瀬一郎



新刊発売中。定価1500円（送料込み）
お申し込みは同封振替用紙で。

1998年版	1,500円	申込記号	A
1999年版	1,500円	申込記号	B
2000年版	1,500円	申込記号	C
A+B+Cセット	3,000円	申込記号	D
2002年版	1,500円	申込記号	E

<本誌に広告を載せませんか>

本誌では広告を募集しています。
法人・個人いずれでもOKです。
現在発行部数は2万6千部。
六稜会員をターゲットにした広告を是非ご掲載ください。

料金

1ページ	10万円
1/2ページ	6万円
1/3ページ	4万円
1/4ページ	3万円

詳細は事務局までお問い合わせください。

六稜会報
No.39

発行日 平成14年9月25日 発行
発行者 稲畑勝雄
編集委員 新原章弘・壽榮松正信・
岸田知子・鎌田俊一・
寺井あかね・谷 卓司

六稜同窓会 <http://www.rikuryo.or.jp/>
〒532-0025 大阪市淀川区新北野2-5-13 府立北野高校内
phone.06-6306-0374 fax.06-6306-1335
e-mail.office@rikuryo.or.jp
郵便振替.00990-4-68025
事務局 月・金（祝日は休）10:00～17:00 北野高校内

デザイン 有限会社ティアンドティ・デザインラボ
<http://www.ttdesign.co.jp/>
〒530-0041 大阪市北区天神橋3-6-4 鶴屋ビル3F
phone.06-6882-0512 fax.06-6242-0833
印刷 株式会社ひかり工房
〒556-0004 大阪市浪速区日本橋西2-2-11
phone.06-6641-6011 fax.06-6641-6012